

令和2年7月31日
大阪管区気象台

近畿地方は梅雨明けしたと見られます。

近畿地方は、湿った空気の影響で雲の広がっている所がありますが、向こう1週間は、太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、近畿地方は7月31日ごろに梅雨明けしたと見られます。

(参考事項)

1 近畿地方の梅雨入り、梅雨明けの時期

	梅雨入り	梅雨明け
平年	: 6月7日ごろ	7月21日ごろ
昨年	: 6月27日ごろ	7月24日ごろ

2 梅雨入りを発表した6月10日から7月30日までの降水量の合計

気象官署	降水量(ミリ)	平年値(ミリ)
大阪	582.0	307.1
アメダス地点	降水量(ミリ)	平年値(ミリ)
能勢	852.5	348.8
茨木	791.0	／／
枚方	638.5	335.9
豊中	730.0	310.5
生駒山	620.0	361.6
堺	515.0	270.9
八尾	488.0	277.1
関空島	474.5	247.8
河内長野	536.0	291.4
熊取	592.5	277.1

(降水量の合計は速報値、平年値は1981～2010年の平均値です。)

) : 欠測を含みます。

／／ : 期間の不足等の理由により、統計値がありません。

(注意事項)

・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。

・梅雨の時期に関するお知らせは、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表するものです。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本お知らせで発表した期日に変更となる場合があります。

問合せ先 : 大阪管区気象台 気象防災部予報課 担当 浜本・矢野・田中
電話 06-6949-6303 (内線 5412、5416) FAX 06-6941-1846